

島田市議会 議会だより編集に関する特別委員会行政視察報告
議会だより編集に関する特別委員会委員長 大関 衣世

当特別委員会は、「市民に読みやすく、分かりやすく、親しみやすい」議会だよりを目指して行政視察を実施した。令和元年10月17日に千葉県柏市議会を訪問し調査を行った内容を次のとおり報告する。

令和元年10月17日（木）
千葉県柏市役所 柏市議会第4委員会室
調査事項 「議会広報紙の編集について」

千葉県柏市は人口428,788人、面積は114.74平方キロメートルで千葉県北西部の中心的都市として発展を続け中核都市に指定されている。交通網はJR常磐線を始め、つくばエクスプレス、東部鉄道等が通り、首都圏のベッドタウンとして人口は微増が続いている。

柏市議会は定数36人で、平成12年に設置された議会広報委員会は、各会派から選出された議員10人で構成されており、任期は議員の任期としている。委員会は1定例会につき2回で、年8回開催している。議会だよりは定例会号を年4回発行しており、必要に応じて臨時号を発行することができる。発行部数は1回につき142,000部、サイズはタブロイド版の8ページで広報誌と共に新聞折り込みで配布している。さらに希望者には広報誌と一緒に宅配している。

平成28年度全国中核都市議長会をきっかけに、見やすく読んでもらいやすいデザインに見直すこととなり、手にとってもらえるデザインと紙面づくりに主眼を置きリニューアルに取り組んだ。具体的には、従来の文章中心ではなく、写真やイラストを多用し見せる議会だよりを目指した。事務局が担当していたデザインやレイアウトを議会だより等の編集実績のある編集会社に業務委託をした。規格の変更点は2～7面を白黒から2色刷りにしたことと、右開きで縦組みを左開きで横組みとしたことである。また、横書きにしたことで、100行程度（1840字）増行となったため、写真やイラストを掲載できるスペースができた。記事の内容は、議案質疑及び一般質問の原稿は議員が作成し、1回目の広報委員会で取り上げる主な議案の決定をし、事務局が作成する資料をもとに編集業務委託業者が作成する。紙面割りやレイアウト、掲載写真等も委託業者に任せている。

リニューアル後、平成29年度、30年度と2年連続で中核市議会議長会議会報コンクールにおいて「審査員特別賞」を受賞した。市民からは、「色合いが明るくなって見やすい」等の好意的な意見が聞かれるようになった。

柏市は人口規模も島田市と異なるため、予算等の比較はしにくいだが、人口の倍率とほぼ同じ4倍強の規模で、発行部数も多いため1部あたりにかかる費用は約21円であり、しまだ議会だよりよりも若干安価であった。作業のほとんどを事務局と委託業者で行っていて委員会議員の負担は少ないと感じた。議会広報誌の方針はそれぞれの議会の考え方や地域の実情にあわせた手法が重要であると改めて感じた。